

△の数	訂	正	記	事	設計	検図	年月日	△の数	訂	正	記	事	設計	検図	年月日
△								△							
△								△							
適用規格															
定 格	使用温度範囲		-25℃ ~ +85℃				保存温度範囲		-10℃ ~ +60℃						
	電 圧		AC 100 V , DC 140 V												
	電 流		2 A				適合ケーブル								
性 能															
	項 目		試 験 方 法				規 格				QT	AT			
構 造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○			
	表示		目視にて確認する。								○	○			
電 氣 的 性 能	接触抵抗		単位コネクタを DC 1 A で測定する。				10 mΩ以下				○	○			
			外装-シェル間を DC 1 A で測定する。				30 mΩ以下				○	○			
	絶縁抵抗		DC 100 Vで測定する。				1000MΩ以上				○	○			
	耐電圧		AC 300 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○			
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力		— の鋼製ピンで測定する。				挿抜力 — N以上				—	—			
	コネクタの挿抜力		適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を含む。				挿抜力 70 N以下				○	—			
	繰り返し動作		1000 回の抜き差しを行う。				単位コネクタの接触抵抗: 15 mΩ以下 外装-シェル間の接触抵抗: 100 mΩ以下				○	—			
	耐振性		周波数 10 ~ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s ² で3方向各2時間試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—			
	耐衝撃性		加速度490m/s ² , 持続時間11ms 正弦半波3方向各3回試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—			
	環境的		定常状態の耐湿性				温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間 放置する。				○	—			
性 能	温度サイクル		温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15 分 を5サイクル試験する。				①絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと				○	—			
	塩水噴霧		濃度5%の塩水、48時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○	—			
	耐熱性		温度 +85 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	耐寒性		温度 -55 °C中に96時間放置する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	はんだ耐熱性		はんだこてをこて先温度+380±10℃で 3~4秒間ワグ-ホット部へ当てる。				外観の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。				○	—			
	はんだ付け性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2~3秒間のはんだ付けを行う。				はんだ付け面がはんだでぬれている こと。また、はんだの小塊がないこと。				○	—			
備考															
								製 図	設 計	検 図	承 認	出 図			
															
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。															
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目															
製品規格表															
製品名 HR10G-10R-10P (73)															
旧CL CL															
図番 SLC4-042711-73															
製品コード CL110-1608-0-73															
1/1															